



プラム・カルコア太宰府(中央公民館)からのお知らせ

問い合わせ 文化学習課 文化学習係 ☎(921)2101 FAX(285)2631

✉bunka-g@city.dazaifu.lg.jp

ページID:28767

第45回市民文化祭参加者向け説明会を実施します

11月3日(日・祝)～4日(月)に開催予定の市民文化祭向け説明会です。

日時 6月11日(火) ①午後1時30分～午後2時30分 ②午後7時～午後8時

※①②いずれも同じ内容、15分前から入場受付

場所 プラム・カルコア太宰府(中央公民館)4階 多目的ホール

対象者 市内在住・在勤・在学の人、または市内の団体・サークルに加入している人で、本年度の文化祭に展示や舞台発表で参加予定の人(団体での参加の場合は代表者のみで可)

※出席は必須ではありませんが、本年度の開催内容や申込方法などを説明しますので、できるだけ出席してください。

ホワイエLIVE出演者募集中

平日昼間に不定期で開催しています。音楽や落語、漫才、マジックなどを披露してみたい人を募集しています。文化学習課に問い合わせてください。

白レグ・名古屋種・三河種 — 太宰府の養鶏の歴史

現在、太宰府中学校が建っている場所は、以前に福岡県の種鶏場があった所です。種鶏場とは、良質な卵を産む健康な鶏を生産し、養鶏農家などに供給するための施設です。鶏卵の供給を輸入に頼る現状の打開を目指す国の鶏卵増産計画を受け、福岡県は昭和4(1929)年、太宰府町から寄附された^{ほろ}銚子の浦の土地に、先進地の名古屋や熊本^{くまもと}の施設に劣らない、18～19棟の鶏舎を持つ規模の種鶏場を開いています(『福岡日日新聞』)。名古屋種や三河種といった国内の代表的な鶏だけでなく、白色レグホンは米国からも卵で取り寄せて試験が始まりました。この種鶏場は、昭和54年に筑紫野市吉木に移転するまでの50年間、同地において優良種鶏の研究開発に貢献することになります。



養鶏ともなると、ある程度まとまった数の鶏を扱うことになり、管理しなないと、他人の田畑に飛翔して作物を食害し被害者より往々不平を訴えられてトラブルに発展することもままあったようです。それが原因か、太宰府町では、町内の養鶏が禁止された時期がありました(『太宰府市史』)。具体的な政策の後押しが無くては、定着しにくい事業であったのかもしれない。昭和時代に入ってから県の種鶏場の設置は、養鶏の本格的な普及に大きく影響したと思われず。

昭和10年頃、水城村尋常高等小学校が作った教師用指導書『我校の郷土教育』では、児童に郷土の認識を深めさせるための遠足の候補地の一つとして、すべての学年向けに太宰府町の福岡県立種鶏場を挙げています。遠足の目的には、郷土について児童に誇りを持たせることもありましたので、きつと種鶏場の堂々たる研究施設と広大な鶏舎は絶好の教材となると考えられたのでしょう。

太宰府市公文書館 藤田 理子

【バックナンバーはこちら】ページID7241